

令和7年度 厚生センター晴雲地域連携推進会議 議事録

事業所名	厚生センター 晴雲
サービス種別	障害者支援施設
開催日時	令和7年12月18日(木) 10:00~12:00
開催場所	厚生センター 多目的ホール
出席者 (計 13名)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご利用者代表 2名 ・ ご利用者ご家族 2名 ・ 地域の関係者 1名 ・ 福祉に知見がある人 1名 ・ 経営に知見がある人 1名 ・ 松江市障がい福祉課職員 1名 ・ 施設職員 5名
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域連携推進会議の目的説明 2. 各委員及び職員紹介 3. 事業と利用者状況の説明 <ul style="list-style-type: none"> ①施設概要と利用者状況 ②令和6年度事業報告(事業報告書配布) ③令和7年度事業計画(事業計画書配布) <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画上の主な取組 ・ 各委員会活動報告 <ul style="list-style-type: none"> ▶事故防止対策委員会の取組状況 ▶身体的拘束等廃止・虐待防止委員会の取組状況(資料配布) ▶サービス向上委員会の取組状況 (利用者アンケート・家族アンケート結果資料配布) 4. 経営状況について(R6年度収支決算書配布) 5. 地域との連携についての意見交換 6. 施設見学
議事内容	<p><u>1. 地域連携推進会議の目的説明</u></p> <p>施設長から、地域連携推進会議が義務付けられた背景、同会議の目的や役割について説明を行い構成員内で共有する。</p>
【ご利用者代表】	<p><u>3. 事業と利用者状況の説明</u></p> <p><u>①施設概要と利用者状況について(別添資料配布)</u></p> <p>「実施事業の概要」「定員変更の経緯」「利用率の推移」「各事業の利用者状況(年齢・暮らしの期間・支援区分・医療的ケアの状況)」「入退所状況」「職員充足状況」「施設の課題」について説明を行う。</p> <p>【障がい者が地域移行する際、65歳を境に介護保険優先となり、障害福祉サービスから移行しなければならない制度の壁があるが、障がい者に</p>

<p>(施設)</p> <p>(松江市)</p> <p>【福祉に知見がある人】</p>	<p>とっては使いづらく実態に即した検討が必要ではないか】</p> <p>→制度上の課題として、65歳以上及び第2号保険者の障がい者にとってニーズと合わず地域移行を阻む側面もでてくるのではと危惧している。</p> <p>→障害福祉サービスは公助、介護保険は共助の仕組みであり、国が介護保険優先原則を謳っているのご理解願いたい。介護保険での不足部分を障害福祉サービスで補う仕組みや「共生型サービス」等で、同じ場所に通い続けられる工夫及び経済面の補足処置が対応されている。</p>
<p>【ご利用者代表】</p>	<p>【共生型についても、他の生活介護事業で実施した経緯もあるが、解決方法の一つでもあるので、検討されてはどうか。】</p>
<p>(施設)</p> <p>【ご家族様】</p>	<p>【喀痰吸引の資格を取得した職員に対し、資格手当などの処遇改善はなされているか】</p> <p>→事業団では、資格取得奨励金の支給対象資格は介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員であり、喀痰吸引資格者には個別の手当等はない。受講は、事業主負担で出張扱としている。意見は事務局と共有する。</p>
<p>【地域の関係者】</p> <p>(施設)</p> <p>(松江市)</p>	<p>【機能訓練事業の定員が充足しにくいのはなぜか。昨年あたりから特に欠員が生じている。その理由は、65歳までという利用の条件にあるのではないか。超高齢化社会に向かっている中で、65歳あたりで障がい者になる方も増えているので、その対応がどうなるかが気になる】</p> <p>【若い方もおられる中で、65歳を過ぎると身体障害者施設ではなく、介護保険施設を選ばなければならないのか。サービス内容に差はないか】</p> <p>→機能訓練事業は、有期限の「通過型施設」で、入退所の循環が早く定員を満たすのが難しい。第2号保険者の若い方は特に機能訓練事業の効果が大きいですが、介護保険優先原則で利用がし難い点は課題と捉えている</p> <p>→65歳以降は原則介護保険へ移行するが、リハビリ重視の「老健」や身体介護を行う「特養」があり、基本的な介護サービスに大きな差はない</p>
<p>【福祉に知見がある人】</p> <p>(施設)</p>	<p>【相談支援事業所において、職員2名で利用者200名を抱える体制は、キャパシティとして十分なのか】</p> <p>→毎月のモニタリング実績は50件程度である。新規と終了はほぼ同数で安定している利用者もいるため現在対応はできているが、人員体制は今はベストだとは考えておらず、体制強化も検討していく必要はある。</p>
<p>【福祉に知見がある人】</p> <p>(施設)</p>	<p>【広域的には、身体障がい者の入所施設の空白地域もある。松江市外からの年齢上限での入所ケースも把握している。情報を知らない在宅の方・相談支援事業所等も多くあると思われるので、生活介護もPR周知をしっかりと実施し、機能を果たしていくことは重要だ】</p> <p>→機能訓練も合わせてしっかりとPRをしていきたい。</p>

②令和6年度事業報告（令和6年度事業報告書を配布）

実施施策「チームでの支援体制の強化」「暮らしを見つめる支援体制づくり」について取組状況を説明する。体制構築のため、「実践理念と5つの行動指針の具体的実践」「同性介助指針にもとづいた男女協働体制」を更に進めていることを報告する。

③令和7年度事業計画（令和7年度事業計画書を配布）

- ・事業計画上の主な取組について説明する。
- ・各委員会活動報告

（▶事故防止対策委員会の取組状況）：事故・ヒヤリハット関連資料配布)

- ・配布資料に基づき、令和7年度の事故・ヒヤリハットについて、当施設の分類基準である「利用者の影響からみた事故レベル分類（6分類）」「事故の質による分類（5分類）」「事故の種類別内訳（9分類）」に従って、件数・内容・対応方針・対応策等の事例を説明する。

- ・今年度は96件の事故が発生。内、2件（転倒による骨折）は行政への報告が必要な重大事故であった。

（▶身体的拘束等廃止・虐待防止委員会の取組状況）：虐待防止の取組資料配布

- ・令和4年度に発生した虐待事案発生を受け虐待防止に向けた取組を継続的に強化している。

- ・配布資料に基づき、「委員会の開催状況及び外部委員の参画状況」「不適切な自己チェック及び体制整備についてのチーム評価の実施（2回/年）による組織体制の強化」「権利擁護研修による人権意識や気づき力の向上の促進」について報告する。

（▶サービス向上委員会の取組状況）

（利用者及び家族アンケート結果の説明）：アンケート集計結果は配布実践理念に基づいた支援が実際にできているかを振り返り、サービスの改善や質の向上を図る目的で、「利用者アンケート」「家族アンケート」「施設自己評価」の3種類を実施している。

・『家族アンケートの結果』

全般的には良好な意見が多いものの、「空調が冷えすぎている」「廊下への排泄物の臭いの漏れ」等具体的な指摘もあった。家族会で、アンケート結果の報告と立案した対応策について報告した

・『利用者アンケートとの結果』

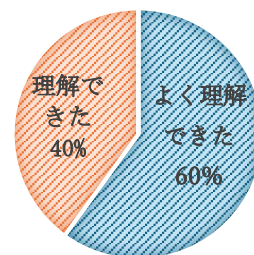
「普段の段の言葉遣いは悪くないが、ふとした時の言い方がきつい」「不親切な対応がある」「ナースコールを押してもなかなか来てくれず待たされる不安感」等意見があった。毎月開催されるご利用者様の「生活の会」でアンケート結果や対応策・改善状況について報告した。

<p>【福祉に知見が有る人】</p> <p>(施設)</p> <p>【福祉に知見が有る人】</p> <p>(施設)</p>	<p>・『施設自己評価（全国共通チェックリスト活用）』</p> <p>・特に「外部との関わりが少ない」「ご利用者様の思いがタイムリーに叶えられていない」という課題の改善に対して取組を実施している。クラブ活動（お茶、習字など）を順次再開したり、ご利用者様の願いを叶える活動企画を実施したりしてサービスの改善に努めている。</p> <p>【透明性や客観性の確保の点から、コストもかかるが事業所側の勉強にもなるので、努力義務ではあるが、是非第三者評価の受審を検討していただきたい】</p> <p>→ 第三者評価はコスト面も含め、今後の検討材料とする。</p> <p>【アンケート結果で「生活介護」におけるプライバシー配慮への意識が、「機能訓練」に比べて低いのが気になる。要因を分析しておく必要がある】</p> <p>→ プライバシーについては、24時間の生活支援の中で生じる課題として真摯に受け止める。</p>
<p>【ご利用者代表】</p> <p>(施設)</p> <p>【経営に知見がある人】</p> <p>(施設)</p>	<p>4. <u>経営状況について（R6年度資金収支計算書配布）</u></p> <p>R6年度資金収支決算書に基づき説明する。</p> <p>収支状況：令和6年度の事業活動収入は約4億200万円で、前年度より3000万円減少。主な理由は利用率の低下である。物価高騰の影響（お米の契約価格が従来に倍近くになる）など、給食費が経営を圧迫している。光熱費も上昇傾向にある。</p> <p>【物価や光熱費が高騰しているが、施設単独ではなく組織として国や行政に要望等だしているのか】</p> <p>→（施設）加入している全国身体障害者施設協議会や自立訓練事業所協議会等、全国組織を通じて物価スライド制の導入や公費助成等について要望書を提出し交渉を行っている。</p> <p>【単年度決算ということなので、コメントが難しい面がある。利用者が減少しても人件費はそのままになるのは理解できるので、次年度の推移がどうなるのかに着目したい。その比較推移が一目でわかるものがあると良い】</p> <p>【多様化や人材不足が進む中、現在の延長線上では対応しきれなくなる可能性がある。時代の変化が速すぎるので、組織力やマネジメント力に目を向け、5年10年先を見据えた時代の変化に対応できる体制づくりが必要である】</p> <p>→ 貴重な助言として受け止め、特に複数年度の推移の比較等数値の分析深化を図りたい。今後も、時代の変化に対応できる事業運営ノウハウについてご指導頂きたい。</p>

<p>【地域の関係者】</p> <p>【地域の関係者】</p> <p>(施設)</p> <p>【ご家族様】</p> <p>【ご家族様】</p> <p>(施設)</p> <p>【ご利用者様代表】</p> <p>(施設)</p>	<p>5. 地域との連携についての意見交換</p> <p>【ご利用者様との直接の交流活動に関しては、何か壁があるという話もよく聞く。草取り等以外にも「直接ご利用者様と交流できるボランティアをさせてほしい」との声もあるので、考えていただければと思う。】</p> <p>【以前は、電動車いすで近くのスーパー等に出かけておられたが、最近一人外出される姿を見かけることが少なくなった。声をかける躊躇感もあるが、ちょっとした会話が日常の接点として大切である】</p> <p>→・施設内で開催しているクラブ活動等へのボランティア協力など検討できると良いと思っている。</p> <p>【地域への発信という点で、以前は「あいあい祭」以外にもイベントを開催されており、交流場面が色々あった。晴雲でもミニグループでの外出など多くの企画をしてもらっていた。重度化による介護量の増加や職員不足で大変だと思うが、日常的な地域とのコミュニケーションの為に、無理のない範囲で活動を徐々に再開してほしい】</p> <p>【先日、近隣の交差点で車いすのご利用者様が信号を渡り切れず困っていたところ、通りがかった高校生が自然と手助けをしている場面を見かけた。近くに厚生センター晴雲という施設があること知っており地域に助け合いの土壌ができていると安心した。】</p> <p>【誕生月企画をしてもらっているが、もう少し外出の頻度を増やしてもらい、社会の様々なものに目を向けさせてもらえたら良いと思う。】</p> <p>→今年度、趣味教室等順次再開はしているが、個別の有償ボランティア等の有効活用も含めて、日中活動や外出支援の充実のために、業務を改善し時間を産出する工夫をしていくことが大事である。</p> <p>【十数年前のように、地元の学生（島大、商業、松徳、工業の学生）が、土日にも気軽に遊びにきてくれるような関係づくりが、再びできたら良いと思う。】</p> <p>→十数年前に比べると、時代背景により学生ボランティアの確保が困難になっている。改めて「厚生センター晴雲を知ってもらう活動」から始める必要がある。学校の福祉学習等への参画や実習等の機会を通じて理解促進を図っている。</p>										
<p>地域連携推進会議 当日アンケート（外部委員）</p> <p>配布数 6名分</p> <p>回収数 5名分</p>	<p>1 利用者が当施設でどの様な生活を送っておられるのか理解できましたか</p> <table border="1" data-bbox="528 1809 967 2056"> <tr> <td>よく理解できた</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>理解できた</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>あまり理解できなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>理解できなかった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>未回答</td> <td>1</td> </tr> </table> <div data-bbox="986 1774 1461 2085"> <p>A pie chart showing the results of the survey. The chart is divided into two segments: a large orange segment representing '理解できた' (Understood) at 80%, and a smaller purple segment representing '未回答' (No answer) at 20%.</p> </div>	よく理解できた	0	理解できた	4	あまり理解できなかった	0	理解できなかった	0	未回答	1
よく理解できた	0										
理解できた	4										
あまり理解できなかった	0										
理解できなかった	0										
未回答	1										

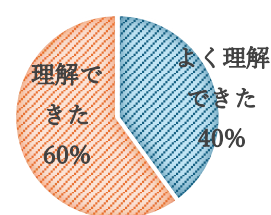
2 どのような障がいを持っている方が利用しているか理解できましたか

よく理解できた	3
理解できた	2
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0
未回答	0



3 どのような障がいを持っている方が利用されているのか理解できましたか

よく理解できた	2
理解できた	3
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0
未回答	0



4 職員の接遇や働く態度・姿勢について気づかれたことがありましたらご記入下さい

- ・ 土日祝の職員配置が難しいことは理解していますが、面会時スタッフルームが無人の時があり、誰をどう呼んでいいのかわからない時があります。
- ・ 見学時、怪訝そうにしておられた職員がおられ、本日の見学の案内が周知できているのかが気になりました。

5 厚生センター晴雲の運営に関して気づかれたことがありましたら、ご記入下さい

- ・ ご意見なし

6 今回の会議に参加されて感じられたことやご意見などご記入下さい

- ・ 外部関係者の委員さん方が、自分の立場から厚生センター晴雲に対して、日頃どう見ているのか、そう感じているのか等、専門的な立場からもう少しわかりやすく話してもらえると良かったです。
- ・ 利用者さんが、積極的に発言されており、すごいなと思いました。このことから、良い運営をしておられると感じました。